



2021年8月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トーセ
 コード番号 4728 URL <https://www.tose.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 康人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務管理部長 (氏名) 中川 尚樹

TEL 075-342-2525

定時株主総会開催予定日 2021年11月25日 配当支払開始予定日 2021年11月26日

有価証券報告書提出予定日 2021年11月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期の連結業績(2020年9月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	5,960	5.8	266	27.1	284	26.5	148	34.8
2020年8月期	5,635	5.3	365	0.6	387	4.3	227	9.1

(注) 包括利益 2021年8月期 204百万円 (19.5%) 2020年8月期 254百万円 (13.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年8月期	19.55		2.5	4.0	4.5
2020年8月期	30.00		3.8	5.4	6.5

(参考) 持分法投資損益 2021年8月期 百万円 2020年8月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期	7,087	6,046	84.5	790.51
2020年8月期	7,039	6,023	85.0	789.02

(参考) 自己資本 2021年8月期 5,992百万円 2020年8月期 5,980百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年8月期	95	154	189	908
2020年8月期	213	360	189	1,022

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年8月期		12.50		12.50	25.00	189	83.3	3.2
2021年8月期		12.50		12.50	25.00	189	127.9	3.2
2022年8月期(予想)		12.50		12.50	25.00		66.2	

3. 2022年8月期の連結業績予想(2021年9月1日～2022年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,717	47.9	252		257		146		19.27
通期	6,242	4.7	480	80.3	488	71.7	286	93.0	37.74

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期	7,763,040 株	2020年8月期	7,763,040 株
期末自己株式数	2021年8月期	183,120 株	2020年8月期	183,080 株
期中平均株式数	2021年8月期	7,579,938 株	2020年8月期	7,580,054 株

(参考)個別業績の概要

2021年8月期の個別業績(2020年9月1日～2021年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	5,648	5.6	261	21.6	225	35.6	89	50.0
2020年8月期	5,349	6.0	333	19.9	349	18.7	178	35.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期	11.78	
2020年8月期	23.53	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年8月期	6,815		5,804		84.7	761.41		
2020年8月期	6,833		5,858		85.4	769.50		

(参考) 自己資本 2021年8月期 5,771百万円 2020年8月期 5,832百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2021年10月21日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その説明内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	15
役員の異動	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におきましては、再び新型コロナウイルス感染症の拡大が発生し、感染拡大地域を対象とした度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されるなど、経済の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループが属するゲーム業界におきましては、コロナ禍による巣ごもり消費の拡大に伴い、ゲーム会社各社の業績が総じて好調に推移し、活況を呈しました。

当社グループでは、中長期的な企業価値と資本効率の向上に向けて、大規模・高度化開発に耐えうる開発体制の充実・強化に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染拡大に対しては、従業員や家族、取引先をはじめとする様々なステークホルダーの安全を最優先に考え、感染拡大を防ぐための取り組みを実施しました。それに伴い、プロジェクトでの開発進行管理が難しくなる影響を受けたものの、事業への影響を最小限に抑えるように努めてまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、デジタルエンタテインメント事業において、新型ゲーム機に対応した家庭用ゲームソフトの大型案件の開発が完了したことや、大型のスマートフォン向けゲームの運営売上が好調に推移したことにより、デジタルエンタテインメント事業での売上が伸長しました。さらにコロナ禍による巣ごもり消費の拡大に伴い、その他事業での家庭用カラオケ楽曲配信事業のロイヤリティ売上が引き続き好調に推移いたしました。その結果、売上高は59億60百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

利益面につきましては、スマートフォン向けゲームの開発案件において、開発中盤までに実施した作業の成果物を改修する必要が生じ、本案件の対応に費用がかかったことや、同案件の完了時期が来期にずれ込んだことに加え、長期化する新型コロナウイルス感染拡大の防止に取り組んできたことで費用が想定以上にかかったことから、営業利益2億66百万円（前年同期比27.1%減）、経常利益2億84百万円（前年同期比26.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1億48百万円（前年同期比34.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

①デジタルエンタテインメント事業

当事業では、ゲームを中心とするデジタルコンテンツの企画・開発・運営などの受託を行っております。

当連結会計年度におきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組む中、新型ゲーム機である「プレイステーション5」や「Xbox Series X/S」向けゲームソフトの開発業務を遂行するとともに、クラウドゲームサービスに対する開発力を向上させる取り組みも行ってまいりました。

ゲームソフト関連の売上は、上記1.（1）に記載のとおり、新型ゲーム機に対応した家庭用ゲームソフトの大型案件の開発が完了したことや複数の家庭用ゲームソフトの大型案件において、顧客からエンタテインメント性を高める仕様追加等の要請を受けたことにより、31億95百万円（前年同期比73.2%増）となりました。

モバイルコンテンツ関連の売上は、上記1.（1）に記載のとおり、大型のスマートフォン向けゲームの運営売上が好調に推移した一方で、顧客からの開発業務の相談・引き合いについてはモバイルコンテンツ関連よりゲームソフト関連の方が増加し、前年同期と比べて開発案件の完了も少なかったことなどにより、21億59百万円（前年同期比24.9%減）となりました。

パチンコ・パチスロ関連の売上は、ゲームソフト関連やモバイルコンテンツ関連に開発人員をシフトしていることにより、1億24百万円（前年同期比46.3%減）となりました。

この結果、当事業の売上高は54億78百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益2億23百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

②その他事業

当事業では、SI（システムインテグレーション）事業、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズによる家庭用カラオケ楽曲配信事業、新規事業の創出に取り組んでおります。

当連結会計年度におきましては、コロナ禍による巣ごもり消費の拡大に伴い、前期に引き続き家庭用カラオケ楽曲配信事業のロイヤリティ売上が伸長いたしました。一方で、SI事業においては、既存案件の追加開発を受注するだけでなく、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）に対する期待感・必要性の高まりやコロナ禍での消費行動変容を背景に、インターネットによる商品販売やプロモーションを望む企業との取引を開始しているものの、前年同期に大型案件の開発完了があったことの反動減などにより、当事業の売上高は4億81百万円（前年同期比29.6%減）、営業利益43百万円（前年同期比16.7%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産残高は、前連結会計年度末と比較して47百万円増加し、70億87百万円となりました。資産の部におきましては、現金及び預金、仕掛品などが減少したものの、売掛金などが増加したことにより、流動資産が1億86百万円増加しております。なお、償却・除却による有形固定資産の減少や投資有価証券の減少などにより、固定資産が1億38百万円減少しております。

負債につきましては、買掛金や賞与引当金などが減少したものの、未払法人税等などが増加したことにより、前連結会計年度末と比較して25百万円増加し、10億41百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いに伴う減少があったものの、その他有価証券評価差額金の変動したことなどにより、前連結会計年度末と比較して22百万円増加し、60億46百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して1億13百万円減少し、9億8百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、95百万円(前連結会計年度は2億13百万円の資金獲得)となりました。主な内訳は、たな卸資産の減少額4億18百万円、税金等調整前当期純利益2億59百万円などがあった一方で、売上債権の増加額7億93百万円、法人税等の支払額84百万円などの支出があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は、1億54百万円(前連結会計年度は3億60百万円の資金獲得)となりました。主な内訳は、有価証券の取得による支出53百万円などの支出があった一方で、投資有価証券の償還による収入2億53百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億89百万円(前連結会計年度は1億89百万円の資金使用)となりました。これは、配当金の支払額1億89百万円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

次期におきましては、「Nintendo Switch」が好調に推移することに加え、新型ゲーム機である「プレイステーション5」や「Xbox Series X/S」の普及が進むことで、ゲーム市場の拡大が期待されます。さらに、国内クラウドゲーム市場規模も徐々に増加しており、クラウドゲーム普及の本格化も見込まれます。今後、それらに対応するソフトの拡充に伴い、開発需要は高まると予想しています。

このような事業環境のもと、当社グループでは、中長期的な企業価値と資本効率の向上に向けて、引き続き新型コロナウイルス感染症への対策に取り組む中、開発需要の増大に対応できる開発体制を充実・強化するとともに、様々なIP (Intellectual Property : キャラクター等の知的財産) を活用した新しい事業の開発にも取り組んでまいります。さらに、人材確保・育成への投資も積極的に行い、従業員が働きやすい職場環境の整備に取り組んでまいります。

この結果、次期の連結業績予想につきましては、売上高62億42百万円(前連結会計年度比4.7%増)、営業利益4億80百万円(前連結会計年度比80.3%増)、経常利益4億88百万円(前連結会計年度比71.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2億86百万円(前連結会計年度比93.0%増)を予定しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、企業体質の強化と新たなビジネス分野への積極的な事業展開に備えるために内部留保資金の充実を図りつつ、株主の皆様に対し安定的な配当を維持していくことを基本方針としております。また、事業展開の節目、あるいは業績を鑑みながら記念配当、株式分割などを実施し、株主の皆様への利益還元を行ってまいります。

当期の期末配当金としては、2020年10月7日付の決算発表時に公表いたしましたとおり、1株当たり12円50銭とさせていただきます。

なお、中間配当として1株当たり12円50銭の普通配当を支払っておりますので、年間配当は25円になる予定です。

次期の配当金は中間、期末ともに12円50銭の年間25円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、今後の外国人株主比率及び国内他社のIFRS採用動向を踏まえ、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,562,031	1,448,650
売掛金	1,441,064	2,234,129
有価証券	354,806	265,948
仕掛品	465,843	47,288
その他	57,338	71,453
貸倒引当金	△1,090	△1,150
流動資産合計	3,879,994	4,066,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,298,972	1,308,695
減価償却累計額	△759,525	△793,187
建物及び構築物(純額)	539,447	515,507
工具、器具及び備品	235,500	248,853
減価償却累計額	△206,440	△219,979
工具、器具及び備品(純額)	29,060	28,874
土地	709,565	709,565
その他	71,252	71,252
減価償却累計額	△64,441	△66,898
その他(純額)	6,810	4,353
有形固定資産合計	1,284,883	1,258,300
無形固定資産		
ソフトウェア	39,590	30,750
ソフトウェア仮勘定	—	16,444
電話加入権	2,135	2,135
無形固定資産合計	41,725	49,330
投資その他の資産		
投資有価証券	608,439	528,502
退職給付に係る資産	31,827	27,356
繰延税金資産	51,149	27,401
投資不動産	728,599	728,599
減価償却累計額	△104,354	△115,457
投資不動産(純額)	624,244	613,141
保険積立金	444,791	445,265
その他	72,403	71,725
投資その他の資産合計	1,832,855	1,713,393
固定資産合計	3,159,464	3,021,024
資産合計	7,039,458	7,087,344

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	156,763	119,071
未払法人税等	34,300	62,171
前受金	40,572	3,578
賞与引当金	117,721	67,796
受注損失引当金	15,194	4,882
その他	317,097	447,868
流動負債合計	681,648	705,369
固定負債		
役員退職慰労引当金	292,678	303,113
その他	41,634	32,634
固定負債合計	334,312	335,747
負債合計	1,015,961	1,041,117
純資産の部		
株主資本		
資本金	967,000	967,000
資本剰余金	1,313,184	1,313,184
利益剰余金	3,871,753	3,830,450
自己株式	△173,277	△173,309
株主資本合計	5,978,660	5,937,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,493	48,456
為替換算調整勘定	7,038	24,281
退職給付に係る調整累計額	△14,453	△18,024
その他の包括利益累計額合計	2,079	54,713
新株予約権	25,747	33,062
非支配株主持分	17,010	21,124
純資産合計	6,023,497	6,046,226
負債純資産合計	7,039,458	7,087,344

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
売上高	5,635,522	5,960,106
売上原価	4,325,224	4,782,707
売上総利益	1,310,298	1,177,399
販売費及び一般管理費	944,865	910,882
営業利益	365,433	266,516
営業外収益		
受取利息	6,565	2,114
受取配当金	6,146	15,445
投資有価証券償還益	—	4,250
不動産賃貸料	40,561	34,983
為替差益	2,809	—
雑収入	7,626	5,124
営業外収益合計	63,708	61,918
営業外費用		
支払利息	36	20
投資有価証券償還損	120	—
投資有価証券評価損	4,250	—
不動産賃貸費用	37,503	38,094
為替差損	—	2,944
雑損失	—	2,683
営業外費用合計	41,909	43,743
経常利益	387,232	284,691
特別利益		
投資有価証券売却益	2,159	—
特別利益合計	2,159	—
特別損失		
固定資産除却損	628	—
投資有価証券償還損	12,794	—
投資有価証券評価損	6,596	25,004
特別損失合計	20,019	25,004
税金等調整前当期純利益	369,372	259,686
法人税、住民税及び事業税	112,143	98,451
法人税等調整額	27,882	8,925
法人税等合計	140,025	107,376
当期純利益	229,346	152,309
非支配株主に帰属する当期純利益	1,981	4,113
親会社株主に帰属する当期純利益	227,365	148,195

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
当期純利益	229,346	152,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,975	38,962
為替換算調整勘定	△8,121	17,243
退職給付に係る調整額	2,370	△3,571
その他の包括利益合計	25,225	52,634
包括利益	254,571	204,944
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	252,590	200,830
非支配株主に係る包括利益	1,981	4,113

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	967,000	1,313,184	3,833,889	△173,177	5,940,897
当期変動額					
剰余金の配当			△189,501		△189,501
親会社株主に帰属する当期純利益			227,365		227,365
自己株式の取得				△100	△100
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	37,863	△100	37,763
当期末残高	967,000	1,313,184	3,871,753	△173,277	5,978,660

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△21,482	15,160	△16,823	△23,146	11,034	15,029	5,943,815
当期変動額							
剰余金の配当							△189,501
親会社株主に帰属する当期純利益							227,365
自己株式の取得							△100
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	30,975	△8,121	2,370	25,225	14,712	1,981	41,919
当期変動額合計	30,975	△8,121	2,370	25,225	14,712	1,981	79,682
当期末残高	9,493	7,038	△14,453	2,079	25,747	17,010	6,023,497

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	967,000	1,313,184	3,871,753	△173,277	5,978,660
当期変動額					
剰余金の配当			△189,498		△189,498
親会社株主に帰属する当期純利益			148,195		148,195
自己株式の取得				△32	△32
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△41,302	△32	△41,334
当期末残高	967,000	1,313,184	3,830,450	△173,309	5,937,325

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	9,493	7,038	△14,453	2,079	25,747	17,010	6,023,497
当期変動額							
剰余金の配当							△189,498
親会社株主に帰属する当期純利益							148,195
自己株式の取得							△32
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	38,962	17,243	△3,571	52,634	7,315	4,113	64,063
当期変動額合計	38,962	17,243	△3,571	52,634	7,315	4,113	22,729
当期末残高	48,456	24,281	△18,024	54,713	33,062	21,124	6,046,226

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	369,372	259,686
減価償却費	88,905	81,096
株式報酬費用	14,712	7,315
貸倒引当金の増減額(△は減少)	30	60
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,864	△49,924
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△87,383	△10,311
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	13,900	10,435
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△959	△674
受取利息及び受取配当金	△12,711	△17,559
支払利息	36	20
為替差損益(△は益)	132	3,107
固定資産除却損	628	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,159	—
投資有価証券償還損益(△は益)	12,914	△4,250
投資有価証券評価損益(△は益)	10,846	25,004
売上債権の増減額(△は増加)	320,268	△793,064
たな卸資産の増減額(△は増加)	△200,330	418,554
前受金の増減額(△は減少)	△102,817	△36,993
仕入債務の増減額(△は減少)	△38,203	△37,692
その他	20,053	116,471
小計	399,369	△28,717
利息及び配当金の受取額	13,339	18,418
利息の支払額	△36	△20
法人税等の還付額	△214	—
法人税等の支払額	△198,506	△84,995
営業活動によるキャッシュ・フロー	213,952	△95,315
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	400,000	—
有価証券の取得による支出	△56,560	△53,611
有形固定資産の取得による支出	△13,866	△21,128
無形固定資産の取得による支出	△7,279	△23,371
投資有価証券の取得による支出	△425,004	—
投資有価証券の売却による収入	108,230	—
投資有価証券の償還による収入	356,560	253,611
投資不動産の取得による支出	△539	—
その他	△790	△619
投資活動によるキャッシュ・フロー	360,749	154,880

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△100	△32
配当金の支払額	△189,241	△189,708
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189,342	△189,740
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,373	16,793
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	376,986	△113,381
現金及び現金同等物の期首残高	645,045	1,022,031
現金及び現金同等物の期末残高	1,022,031	908,650

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

① 連結子会社の数

3社

連結子会社の名称

東星軟件(杭州)有限公司

株式会社フォネックス・コミュニケーションズ

TOSE PHILIPPINES, INC.

② 非連結子会社はありません。

2 持分法の適用に関する事項

① 持分法を適用した関連会社数

持分法を適用した関連会社はありません。

② 持分法を適用しない関連会社の数

1社

会社等の名称

株式会社アルグラフ

(持分法を適用しない理由)

持分法非適用会社は、当期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等の連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であり、かつ全体として重要性がないため、持分法の適用から除外しております。

3 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち、東星軟件(杭州)有限公司及びTOSE PHILIPPINES, INC.の決算日は12月31日、株式会社フォネックス・コミュニケーションズの決算日は6月30日であります。連結財務諸表の作成にあたっては、同日現在の財務諸表または仮決算により作成した財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループでは、「デジタルエンタテインメント事業」及び「その他事業」の2つを報告セグメントとしております。

「デジタルエンタテインメント事業」は、ゲームを中心とするデジタルコンテンツの企画・開発・運営などの受託を行っております。「その他事業」は、SI事業、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズによる家庭用カラオケ楽曲配信事業、新規事業の創出に取り組んでおります。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

事業のセグメントの利益は営業利益をベースとした数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注)1	連結 財務諸表 計上額 (注)2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	4,951,367	684,155	5,635,522	—	5,635,522
セグメント間の内部売上高 又は振替高	58,649	22,798	81,448	△81,448	—
計	5,010,016	706,954	5,716,970	△81,448	5,635,522
セグメント利益	313,638	51,794	365,433	—	365,433
セグメント資産	2,707,213	336,691	3,043,904	3,995,553	7,039,458
その他の項目(注)3					
減価償却費	67,839	9,107	76,947	11,957	88,905
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	11,936	3,964	15,900	11,810	27,711

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の△81,448千円は、セグメント間取引の消去の額であります。
 - (2) セグメント資産の3,995,553千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは、当社での余資運用資金(現金及び預金並びに有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)、繰延税金資産、投資不動産及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の11,957千円は、投資不動産に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の11,810千円は、報告セグメントに配分していない全社資産に係るもの及びセグメント間取引の消去の額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- 3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用及びその償却額が含まれています。

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注)1	連結 財務諸表 計上額 (注)2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	5,478,645	481,461	5,960,106	—	5,960,106
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,160	11,892	32,053	△32,053	—
計	5,498,806	493,353	5,992,160	△32,053	5,960,106
セグメント利益	223,366	43,150	266,516	—	266,516
セグメント資産	3,114,077	354,291	3,468,369	3,618,974	7,087,344
その他の項目(注)3					
減価償却費	65,272	4,597	69,869	11,226	81,096
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	14,541	1,371	15,913	31,972	47,886

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の△32,053千円は、セグメント間取引の消去の額であります。
 - (2) セグメント資産の3,618,974千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは、当社での余資運用資金(現金及び預金並びに有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)、繰延税金資産、投資不動産及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の11,226千円は、投資不動産に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の31,972千円は、報告セグメントに配分していない全社資産に係るもの及びセグメント間取引の消去の額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- 3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用及びその償却額が含まれています。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり純資産額	789円02銭	790円51銭
1株当たり当期純利益金額	30円00銭	19円55銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	227,365	148,195
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	227,365	148,195
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,580	7,579
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	25	40
(うち新株予約権(千株))	(25)	(40)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2020年8月31日)	当連結会計年度末 (2021年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	6,023,497	6,046,226
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)		
(うち新株予約権)	(25,747)	(33,062)
(うち非支配株主持分)	(17,010)	(21,124)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,980,739	5,992,039
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	7,579	7,579

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

① 代表者の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動(2021年11月25日付予定)

・退任予定取締役

取締役執行役員 平井 富士男(任期満了により)